

## ▼ジーラスタ皮下注 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 ペグフィルグラスチム（遺伝子組換え） pegfilgrastim [genetical recombination] 【分類】 持続型 G-CSF 製剤

【単位】 ▼3.6mg/Syr [0.36mL]

【常用量】 ■がん化学療法剤投与終了後の翌日以降に 3.6mg

【用法】 皮下注 ■化学療法 1 サイクルあたり 1 回

【透析患者への投与方法】 PK に変化なく、常用量 (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 PK に変化なく、常用量 (1)

【特徴】 PEG 化 G-CSF。腎臓クリアランスの低下、プロテアーゼによる加水分解への抵抗により血中半減期が延長している。

【主な副作用・毒性】 ショック、アナフィラキシー、骨痛、背部痛、筋骨格痛、間質性肺疾患、急性呼吸窮迫症候群、芽球の増加、発疹、肝機能異常、頭痛、味覚異常、咳嗽、呼吸困難、注射部位異常など。

【F】 5～31% [sc, ラット] (1)

【tmax】

【代謝】 G-CSF 受容体を介して細胞内で代謝されると推定 (1)

【t1/2】 固形がん 40～50hr [sc], リンパ腫 20～30hr [sc] (1)

【MW】 約 40000

【透析性】 除去されない (5)

【薬物動態】 非線形動態 [投与量増加以上に AUC が増大] (1)

【更新日】 20160114

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。